

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成26年10月20日同時配布

平成26年10月20日
国土交通省
水管理・国土保全局砂防部保全課
国土技術政策総合研究所

河川の「メンテナンス」と「環境の保全・再生」をテーマに土砂を賢く流す取り組みを報告 ～「総合土砂管理研究フォーラム」の開催(お知らせ)～

水管理・国土保全局および国総研は、土砂管理技術を幅広く深化させることを目的に平成26年11月20日(木)「総合土砂管理研究フォーラム」を開催することとしました。

フォーラムでは、河川の「メンテナンス」と「環境の保全・再生」をテーマに、地方整備局や国総研の取り組み、土木研究所や民間企業での技術開発状況を報告します。

また、報告者とフォーラム参加者で、土砂管理を現場で実践していくための今後の取り組みや技術開発のあり方について討論します。

1. 開催趣旨

総合的な土砂管理とは、山地・山麓部から、扇状地部、平野部、河口・海岸部までをひとくくりとして、土砂の生産抑制や流出・移動の調節などに取り組むことです。この取り組みを実際の河川でさらに進めるためには、治水や環境の観点から、土砂管理に関する技術的な課題を明らかにして、現地の特性に応じて計画的に進めていくことが大切です。

そこで、本フォーラムでは、河川の「メンテナンス」と「環境の保全・再生」をテーマに、特に上流からの土砂移動の促進と中下流域における河道の管理をどのように実践していくかという論点で、行政担当者や研究者から現在の取り組み状況や技術開発状況等の報告を行うとともに、今後の土砂管理に向けた取り組みや技術開発のあり方などについて討論を行うものです。

2. 日時：平成26年11月20日(木) 13時20分～17時30分(12時30分開場)

3. 場所：中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂

(〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎2号館)

4. プログラム：主な内容(別紙参照)

- ① 地方整備局や国総研での取り組み報告
- ② 土木研究所の研究や民間企業での技術開発状況
- ③ 報告者とフォーラム参加者による総合討論

5. その他：入場無料 先着200名(事前申し込み必要(別紙参照)、空席が有る場合のみ当日受付)

なお、マスコミの方の参加は、事前に下記まで連絡願います。

<問い合わせ先>

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課

総合土砂企画官 飯野光則(内線36203) 総合土砂管理係長 土屋峰人(内線36215)

(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8469 (FAX)03-5253-1611

国土技術政策総合研究所 河川研究部

水環境研究官 福濱方哉(内線3514) 大規模河川構造物研究室 主任研究官 櫻井寿之(内線3552)

(直通)029-864-2587 (FAX)029-864-2688

総合土砂管理研究フォーラム

～河川の「メンテナンス」と「環境の保全・再生」をテーマに
土砂を賢く流す取り組みを報告～



土木学会認定
CPD プログラム
(3.8単位)

参加費無料

定員 200名

国土交通省水管理・国土保全局
国土技術政策総合研究所



日時

平成26年11月20日(木)
13:20～17:30(受付 12:30～)

申込の受付は、定員に達したため終了いたしました。
たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

本フォーラムでは、河川の「メンテナンス」と「環境の保全・再生」をテーマに、土砂管理に関する地方整備局や国総研の取り組み、土木研究所や民間企業での技術開発状況を報告します。また、報告者とフォーラム参加者で、土砂管理を現場で実践していくための今後の取り組みや技術開発のあり方について討論します。

プログラム

13:20～13:35	開会挨拶 趣旨説明	国土技術政策総合研究所 河川研究部 部長 鳥居 謙一 国土交通省 保全課 総合土砂企画官 飯野 光則
13:35～14:00	1. 矢作川における取り組み (ダムからの段階的な土砂排出方法の検討)	国土交通省 中部地方整備局 矢作ダム管理所長 笹森 伸博
14:00～14:25	2. 那賀川における取り組み (置土による河道の評価)	国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所長 赤松 薫
14:25～14:50	3. 黒部川における取り組み (ダムの連携排砂を踏まえた河道管理)	国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所長 石川 伸
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:25	4. 「総合的」とは？ー山と海を繋ぐ河道の視点からー	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 室長 服部 敦
15:25～15:50	5. 流量と流砂量の関係からみた土砂供給技術の現状と課題	国土技術政策総合研究所 河川研究部 大規模河川構造物研究室 主任研究官 櫻井 寿之
15:50～16:15	6. 砂供給が河川環境に及ぼす影響の評価ー基本的な考え方と技術的な課題ー	土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チーム 上席研究員 萱場 祐一
16:15～16:40	7. 土砂供給工法の最前線	一般社団法人 ダム水源地土砂対策技術研究会 技術委員長 延谷 秀正 一般社団法人 ダム水源地土砂対策技術研究会 技術委員 片山 裕之
16:40～16:50	休憩	
16:50～17:30	8. 総合討論ー土砂の供給が河道・環境に与える効果と影響ー	コーディネーター：国土技術政策総合研究所 河川研究部 水環境研究官 福濱 方哉 パネラー：各報告者

申込方法

申込の受付は、定員に達したため終了いたしました。
たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

定員

200名

問合せ先

国土技術政策総合研究所
河川研究部 大規模河川構造物研究室
TEL：029-864-2587、FAX：029-864-2688
E-mail：daikibokasen@nilim.go.jp

主催

国土交通省 水管理・国土保全局
国土技術政策総合研究所

会場 アクセス

中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂
*入館手続きのために身分証明書をご持参ください。
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2
・東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線
「霞ヶ関」駅A2出口より徒歩2分
・東京メトロ有楽町線「桜田門」駅4番出口より徒歩4分

